

# 【概要版】静岡市水素エネルギー利活用促進アクションプラン

## <静岡市の水素エネルギー利活用の方向性>

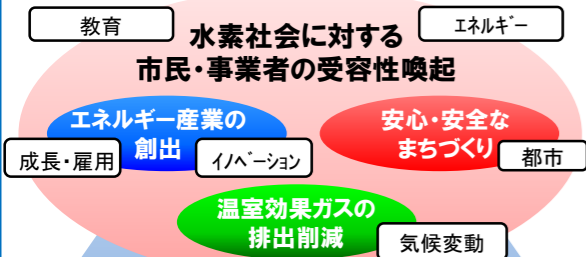
### 水素エネルギー利活用促進ビジョン

計画期間: 2017年度から2030年度まで

#### 目標

水素エネルギーを利活用した「静岡型水素タウン」の実現

<SDGs(※)と関連付けた基本的視点>



※ SDGs(持続可能な開発目標)とは、平成27年9月の国連サミットで採択された2030年度までの世界共通の目標(17のゴールと169のターゲット)

### <目標達成に向けたプロジェクト>

- (共通プロジェクト) 水素エネルギーの普及拡大
- (都市部プロジェクト) IoTを活用した水素エネルギーの利活用
- (港湾部プロジェクト) 清水港を活用した水素エネルギーの利活用
- (山間部プロジェクト) 未利用エネルギーを活用した水素エネルギーの利活用

### 第1期静岡市水素エネルギー利活用促進アクションプラン

計画期間: 2017年度から2018年度まで

#### 具体的事業・指標

- ・事業内容
- ・スケジュール
- ・指標(現状、目標)

### 【目標】

## 水素エネルギーを利活用した「静岡型水素タウン」の実現

### 水素エネルギー利活用促進ビジョン

#### 【目標達成に向けたプロジェクト】

##### 共通プロジェクト

#### 水素エネルギーの普及拡大

- 理解の促進に向けた情報発信
- 燃料電池を活用した機器の普及拡大
- 新たな技術革新などに伴う水素エネルギー導入可能性の検討

##### 都市部プロジェクト

#### IoTを活用した水素エネルギーの利活用

- スマートICの有効活用
- 水素ステーションで製造した水素の利用用途拡大
- 街区全体のエネルギーをIoT技術を活用し最適な管理

##### 港湾部プロジェクト

#### 清水港を活用した水素エネルギーの利活用

- 国際貿易港「清水港」への水素供給基地の整備
- 周辺施設への水素供給
- 周辺地域への水素輸送

##### 山間部プロジェクト

#### 未利用エネルギーを活用した水素エネルギーの利活用

- 温泉付随ガスと微生物を活用した水素製造
- 周辺施設への水素供給
- 自立分散型エネルギーシステムの構築

### 水素エネルギー利活用促進アクションプラン

#### 【具体的事業】

- ★水素ステーションを活用した環境教育推進事業  
環境教育プログラム作成、視察などの受入体制整備等
- ★FCVを活用した普及啓発事業  
燃料電池自動車の導入、燃料電池自動車を保有する事業者との連携
- ★水素エネルギー普及啓発イベント開催事業  
イベント開催準備、(仮称)燃料電池展の開催
- ★静岡市水素エネルギー利活用促進協議会運営事業  
協議会の開催、先進地視察(必要に応じ)
- ★普及初期における導入支援事業  
静岡型水素タウン促進事業補助金の創設
- ★未利用水素エネルギー利活用検討事業  
未利用水素エネルギーの利活用、新たなキャリアの開発

- ★スマートインターチェンジ活用検討事業  
FCVユーザー向けの特典検討
- ★純水素型燃料電池実証事業  
純水素型燃料電池実証実験、データ検証
- ★水素供給設備整備事業  
特区認定などに向けた調整、事業採算性の検証

- ★(仮称)水素供給基地整備事業検討委員会運営事業  
検討委員会構成委員の調整、事業採算性の検証
- ★周辺市町と連携した需要創出事業  
オフサイト型水素ステーションの検討  
しずおか中部連携中枢都市圏域での普及啓発
- ★FCフォークリフト利活用調査事業  
FCフォークリフト導入に向けた事業採算性等の検証
- ★清水都心エリア開発検討事業  
清水都心におけるエリア開発の検討

- ★温泉付随ガス可能性調査事業  
関係者の合意形成、事業可能性調査
- ★微生物を用いた水素製造調査研究事業  
関係者の合意形成、水素生成リアクターの実証実験

#### 【指標】

水素を活用したまちづくりを必要と思う市民の割合	22.6%(2015) ⇒ 31.7%
家庭用燃料電池	1,236台 ⇒ 5,600台
業務用燃料電池	0台 ⇒ 2台
燃料電池自動車	13台 ⇒ 50台
環境教育などの実施者数	— ⇒ 5,000人

純水素型燃料電池実証実験実施	⇒ 完了
水素供給設備整備に向けた総合調整実施	⇒ 完了

(仮称)水素供給基地整備事業検討委員会	— ⇒ 設置
周辺市町との連携	— ⇒ 2自治体

温泉付随ガス可能性調査	— ⇒ 実施
フィールドでの水素製造の調査研究	— ⇒ 体制構築